

テ、錦繡ノ如シ、ソノ子大サ蓮子ノ如ク、圓ニシテ、微ク肉ヲ外ニシ、核ヲ内ニス、核内仁アリ、之ヲ絞
リテ油トス、

善之 按膽八樹子油、阿蘭陀ヨリ來ル、之ヲホルトガルノ油ト云、善之ガ父登嘗テ阿蘭陀人ハア
ルト云者ニ就テ、之ヲ正シテ、ソノ的ヲ得タリ、蓋シ昔人此樹ノ本邦ニ存スルコトヲ知ラズ、常
ニソノ油ヲ蕃舶ニ仰グコト、數百年來、今尙ホ然リ、若シ苟モ之ヲ製シテ施用セバ、以來急ヲ蕃
舶ニ告ゲズシテ、藥用足ラン乎、又傳聞、豆州熱海地方ニモ、亦此樹アリ、俚人呼デハポソト云、又
ヘポソト云ト、

本邦固ニ此樹多ク有之、安ンゾ舶來ヲ俟ツコトヲ爲ン、

〔遠西名物考〕蘭オリハア羅オレア此樹名

按ニ、阿利機ハ、西洋諸地ニ産スル一種喬木ノ實ナリ、土人はヲ搾リテ油ヲ取リ、藥用及ビ飲膳燈
油ニ供シ、又四方ニ貨ス、和蘭ニテ此油ヲオレイフ、オーリイト名ク、左ニ舉ル阿利機油ナリ、舶來
アリ、俗間藥舖ホルトガルノ油ト呼ブ、平賀鳩溪ノ物類品隲、並ニ小野蘭山翁ノ本草啓蒙ニ、時珍
ガ綱目篤耨香ノ附録ニ出ル膽八香ヲ以テ阿利機油ニ充、又胆八樹ヲ以テ阿利機樹ニ充ツ、又膽
八樹ヲ以テ、本邦豆州等ニ産スルハポソト云、ヘル樹ニ充ツ、物類品隲ニ言、紀伊方言ヅクノ木、本
草啓蒙ニ云、此樹本邦暖地ニ多シ、俗名ヅクノキ州紀シラキ州九ハポソ州豆ト云々、今豆州産ノハポソ
ヲ以テ阿利機樹ノ說ニ較考スレバ、其樹葉花實ノ形容大抵相似タレドモ、但阿利機樹ノ葉ハ對
生シ、且ツ紅色トナラズ、ハポソ葉互生シ、又葉落ルトキ皆鮮紅色トナル、又壬午ノ春、駿州及ビ豆
州ノハポソノ熟實、並ニ未熟ノ者ヲ多ク得テ、數々搾シキニ入レ搾リ試ルニ、唯澀味ノ稀味出ルノミ
ニテ、油出ルコトナシ、是レニ火ヲ點シ、或ハ煎熬シ試ルニ、絶テ油氣ナシ、然ラバハポソハ阿利機
樹ニ非ルカ、